

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜冷凍株式会社 千葉リサーチセンター	階数	地上3F
建設地	千葉県千葉市若葉区上泉町958-10	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、用途地域指定なし	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年9月2日
敷地面積	19,748 m ²	作成者	鈴木
建築面積	8,273 m ²	確認日	2021年9月2日
延床面積	24,097 m ²	確認者	鈴木



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地周辺に緑地帯を設置し、周辺環境に配慮しております。冷蔵倉庫の為、断熱性に優れた外壁材等を使用し、空調設備エネルギー消費量を最小限に抑えた計画としております。	
その他	0	
Q1 室内環境	外部サッシにLOW-Eガラスを採用し、外部からの熱負荷を軽減し、室内空調のエネルギー消費量を削減出来る様に計画しております。	現場控室を設け、作業員の休憩スペースとして活用出来る計画としております。
Q2 サービス性能		敷地内に緑地を設け、建物と自然環境が一体となった景観計画としております。
Q3 室外環境(敷地内)		
LR1 エネルギー	太陽光発電による自然エネルギーの利用や、照明にLEDを採用し、消費電力の低減化を計画しております。	敷地内に乗用車及び、荷捌き用駐車場を設置し、敷地外道路の交通渋滞や、待機車の発生を防ぐよう計画しております。
LR2 資源・マテリアル	建材にホルムアルデヒド発散等級を、規制対象外及びF☆☆☆☆を採用し、汚染物質含有材料の使用を回避しております。	
LR3 敷地外環境		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される